

小児脳性麻痺の最新治療勉強会

2018年3月4日(日)
13:30～17:15

場所:TKPガーデンシティ横浜6F 6J室
(横浜市神奈川区金港町3-1 神奈川コンカード横浜6F)
横浜駅 東口 徒歩5分(裏面)

世界をリードする米国コロンビア大学脳性麻痺センターの首脳陣を迎え、小児脳性麻痺の最新マネージメントを学ぶ勉強会です。

各講演に
日本語版 スライド
簡易通訳あります

受付 12:45～

【第一部】 座長 根本 明宜 (横浜市立大学附属病院 医療情報部長)

1、「脳性麻痺へのHybrid Assistive Limb訓練の試み」 (13:30～13:40)

根津 敦夫

横浜医療福祉センター港南 センター長

2、「患者中心のチーム医療の中の整形外科手術:現状と将来を見据えての治療」 (13:40～14:40)

David P. Roye, Jr. 先生

米コロンビア大学Weinberg Family脳性麻痺センター 小児整形外科教授

3、「エビデンスとは何か?P値の論理的な落とし穴を避けるために」 (14:40～15:10)

松本 寛子 先生

米コロンビア大学Weinberg Family脳性麻痺センター リサーチディレクター

休憩(5分)

【第2部】 座長 菊地 尚久 (千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長)

4、「痙縮の評価・治療と疼痛の管理」 (15:15～16:15)

Heakyung Kim 先生

米コロンビア大学医療センター リハビリテーション・再生医療科教授

同

小児科教授

5、「エビデンスに基づく治療:最新の知見」 (16:15～17:15)

Iona Novak 先生

シドニー大学 脳性麻痺協同研究所 研究主幹

【対象】 小児脳性麻痺に興味のある医師、療法士、看護師

【会費】 医師 5,000円 療法士・看護師 3,000円 (定員150名)

事前に申し込みが必要です 申し込みは裏面確認ください

【主催】

社会福祉法人 十愛療育会
横浜医療福祉センター港南

社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団
千葉県千葉リハビリテーションセンター

【講師紹介】



David P. Roye, Jr. MD

David Roye氏は米コロンビア大学整形外科教授であり、同大学脳性麻痺センターの創業者ならびにエグゼクティブディレクターである。また、コロンビア大学ニューヨーク子供病院小児整形外科部長でもある。Roye氏は世界的な整形外科医であり、過去十数年に渡りアメリカのベストドクター賞を受賞している。また、アメリカ国立衛生研究所より要請を受け多数の国家会議やプロジェクトに小児整形外科領域のアドバイザーとして参加している。国際脳性麻痺学会やアメリカ脳性麻痺学会では、シンポジウムの講師として招聘され、脳性麻痺治療の総論や整形外科治療の各論などの講演を行う。



Heakyung Kim, MD

Heakyung Kim氏は米コロンビア大学リハビリテーション科の教授であり、ジストニア、筋痙縮の最先端治療における世界屈指の専門医である。また、クオリティーオブライフの向上並びに疼痛緩和治療のスペシャリストであり、過去十数年に渡り、アメリカのベストドクター賞を受賞している。また、コロンビア大学の生徒指導の優れた教員におくられる、2015年指導者賞の受賞者でもある。国際リハビリテーション学会においては、脳性麻痺治療の指導責任者として選出され、治療ガイドライン作成などを任されている。



松本寛子 MA, MPhil, PhDc

松本寛子氏は臨床疫学者であり、コロンビア大学脳性麻痺センターのならびに小児整形外科臨床研究ディレクターである。国際早期側弯症研究会(CSSG)・国際ペルテス病研究会(IPSG)・国際側弯症学会(SRS)合併症委員会等に参加する唯一の臨床疫学者であり、小児整形外科における臨床研究のスペシャリストとして、多くの国際的な臨床研究を牽引している。また、アメリカ国立衛生研究所(NIH)の先天性筋ジストロフィー治療評価研究委員会の委員も務める。小児整形外科分野におけるクオリティーオブライフの評価方法や、脳性麻痺における介護者負担の評価法を開発しており、これらの評価方法は数カ国語に訳され世界中で使用されている。

【お問合せ・参加申し込み先】

横浜医療福祉センター港南

メール seminar@10ai-konan.jp

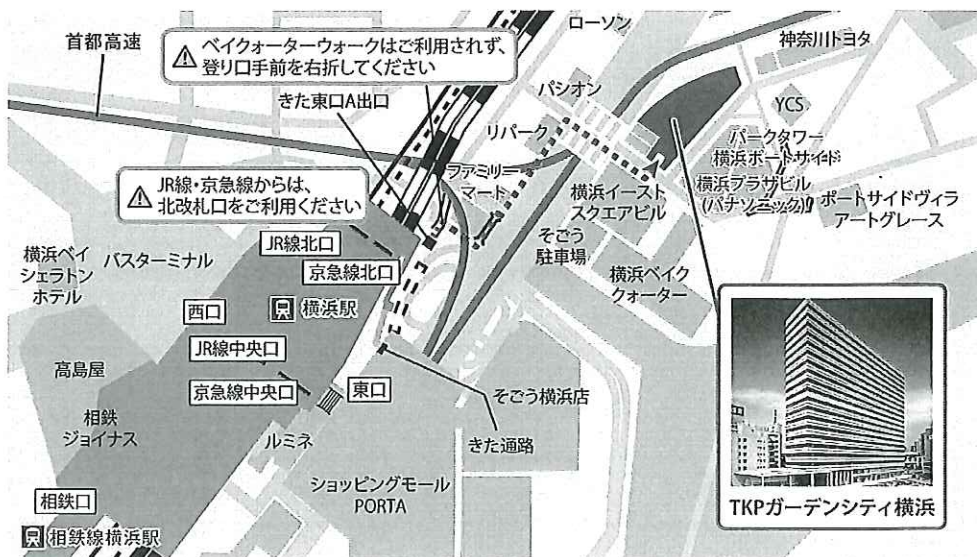
電話 045-830-5757 担当)管理部 芳賀または森

①氏名、②所属、③職名、④連絡先

電話またはメールでお申込みください。

※参加費用は当日徴収いたします

【会場】



横浜駅
きた東口A
徒歩5分